

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和7年8月4日（月）
担 当 課	教育事業部歴史文化財課
電 話	0791-75-5450

報道機関各位

埋蔵文化財センター企画展 「たつのに生きた縄文人―揖保川流域の縄文時代―」を開催

たつの市域にはじめて人が住み始めた縄文時代に焦点を当て、市域や周辺で発見された考古資料から、たつの市で縄文時代に人々がどのような生活していたのか、その実態に迫ります。

記

- 開催期間 令和7年8月27日(水)～10月6日(月)
9時～17時（入館は16時30分まで）
※毎週火曜日、9月1日（月）、10月1日（水）
は休館
- 開催場所 たつの市立埋蔵文化財センター 特別展示室
- 展示内容 かたぶき片吹遺跡出土土器・石器、しみず清水遺跡出土土器・石器、
こうやまみや香山宮の下遺跡出土土器・石器、した家原遺跡（宍粟市）出土土器、
えぼら東南遺跡（太子町）出土土偶 等約200点
- 観覧料 無料
- 関連行事 記念講演会「たつのからみた縄文時代」
日 時：令和7年9月23日（火・祝）14時～15時30分
※受付13時30分～
場 所：たつの市立埋蔵文化財センター 講座体験学習室
講 師：軽野 大希（たつの市歴史文化財課主事）
定 員：50名（当日受付順）
参加費：無料

たつの市の縄文時代について

1. 縄文時代とは

縄文時代は約 16,000～2,700 年前にあたる。日本の歴史では、本格的な定住生活や土器づくりがはじまった時代と考えられている。縄文時代の人々は豊富な動植物を利用する狩猟・採集生活を行っていた。土偶・石棒・石冠などが使用されるまつりが行われるなど精神文化が発達した時代でもある。

2. たつの市内の縄文遺跡

たつの市内で最も古い縄文時代の遺構は誉田町片吹遺跡の縄文時代前期（約 7,200～5,400 年前）の終わりごろのものである。

続く縄文時代中期（約 5,600～4,400 年前）には遺跡が増え、片吹遺跡や揖西町清水遺跡などで縄文時代の竪穴住居跡が確認されている。

縄文時代後期（約 4,400～3,000 年前）や晩期（約 3,000～2,700 年前）では遺構は少ないが、新宮町新宮宮内遺跡や新宮町香山宮の下遺跡などで多数の土器や石棒・石冠などのまつりの道具が出土している。

3. たつの市の縄文時代の特徴

たつの市内では、片吹遺跡や清水遺跡、揖西町南山高屋遺跡で竪穴住居跡が発見されている。住居跡からは多数の土器のほか、狩りに用いた石鏃や、魚を取る網に付けた石錘、木の実などを磨り潰した石皿や磨石など、縄文人の日常生活を想起させる遺物がまとまって出土している。

また、香山宮の下遺跡では西日本では出土例が少ない石冠というまつりの道具が出土している。東日本を起源とするまつりがたつの市内にも伝わっていたことを示す遺物である。

企画展

たつのに生きた縄文人

～揖保川流域の縄文時代～



2025(令和7) 8/27(水) ▶ 10/6(月)

1. 片吹遺跡出土 縄文土器(縄文時代中期)
2. 香山宮の下遺跡出土 縄文土器(縄文時代晩期)

記念講演会「たつのからみた縄文時代」

講 師：軽野大希(歴史文化財課主事)

日 時：9月23日(火・祝) 14:00～15:30

※受付開始13:30～

定 員：50名(当日受付順) ※参加費無料

会 場：たつの市立埋蔵文化財センター

兵庫県たつの市新宮町宮内16 ☎0791-75-5450

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日：毎週火曜日、9月1日、10月1日

入 館 料：無料

主 催：たつの市教育委員会



- JR姫新線「播磨新宮駅」下車、北へ徒歩約15分
- 中国自動車道「山崎インター」南へ約15分
- 山陽自動車道「龍野インター」北へ約15分
- 播磨自動車道「播磨新宮インター」東へ約15分